

## 学びのデザインシート（授業前）

### 主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語】

1. 対象（小学校4年生）
2. 単元（題材）名「事実を分かりやすくほしくしよう 新聞を作ろう」（全12時間）
3. 単元（題材）で育成を目指す資質・能力

<b>知識及び技能</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し、使うこと。（イ（2）情報の整理）</li> </ul>
<b>思考力、判断力、表現力等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすること。B（1）ア</li> <li>・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。B（1）イ</li> <li>・間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認めたりして、文や文章を整えること。B（1）エ</li> </ul>
<b>学びに向かう力、人間性等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。</li> </ul>

#### 4. 本時の目標

※「5」を単元（題材）で作成する場合は省略可能です。

#### 5. 授業展開【本時・単元（題材）】 ※本時または単元（題材）いずれかに○を付けてください。

<b>解決したい課題や問い</b>
みんなに楽しく読んでもらえる新聞にするには、どんなことを、どのように書けばいいだろう。

<b>考えるための材料</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞</li> <li>・作成計画カード（誰に対して 何のために 読み手のニーズは？ 内容等を書く。）</li> <li>・クロームブック（写真を撮る、情報を集める、フォームでのアンケート調査など）</li> <li>・新聞と同じ大きさの用紙</li> <li>・下書き用の用紙</li> </ul>
<b>想定される活動</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞社が発行している新聞から、読む人に分かりやすく伝えるための工夫（見出し 文章に合った写真や絵、表がある。いろいろな話題が取り上げられている。文字の大きさ。等）を見つける活動。</li> <li>・自分たちがつくる新聞の目的を明確にし、何を、どのように表すか、どう調べるかを考える活動。</li> <li>・取材（写真があった方が分かりやすい。どんな写真がいいか。アンケートの項目は何にするか。）</li> <li>・何を一番メインにするか、分かりやすくするための文字の大きさはどのくらいがいいか、等を話し合う活動。</li> <li>・記事を書く。（下書き→清書）</li> <li>・新聞を仕上げる。（まちがいがいいか、自分たちのねらいが達成できているか等を確認する。）</li> </ul>

<b>対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）</b>
<b>【4人組の小集団】</b>
<ol style="list-style-type: none"> <li>① 新聞の工夫を見つける活動（1時間） 「写真や絵があるとわかりやすいね。文字の大きさや字体も変えているね。」</li> <li>② 新聞作成の目的、内容構成、役割分担を考える活動（2時間） 「～だから、○○をメインの記事にしたい。～ことを書くとみんなが楽しめるよ。」</li> <li>⑤新聞を仕上げる。（2時間） 「まちがいはないか確かめてみよう。この書き方は読みにくいから変えた方がいいかも。」</li> </ol>

### 【個人、小集団】

- ③ 取材（2時間）「～の写真を撮ってこよう。アップの写真の方がいいね。どこで調べたら、もっと詳しく書いてあるかな。」
- ④ 記事を書く。（1時間）  
「記事が長くなりすぎてしまった。大切なところだけ書こう。この記事だとよく分からないよ。」
- ⑤ お互いの新聞を読み合う。（1時間）  
「アンケート結果がグラフでも表せていて、分かりやすい書き方だね。」  
「この記事を読んで、〇〇のことを初めて知りました。」

### 学習の成果（予想される子供のあらわれ）

どんな内容にするかを考える時には、自分たちが1番伝えたいことや読む人が興味をもってくれそうなことを予想して、記事を書くといい。また、記事を書く時には、見出しや文字の大きさ、文字や文章の長さを考えることで、読み手に興味をもってもらい、分かりやすくなる。どこにどの記事を書くかを工夫することや、写真や図表をいれることで、より分かりやすくなる。